

**水産物の産地水揚量・卸売価格、輸出入
及び家計消費の月別動向について(月報)**
(平成21年5月)

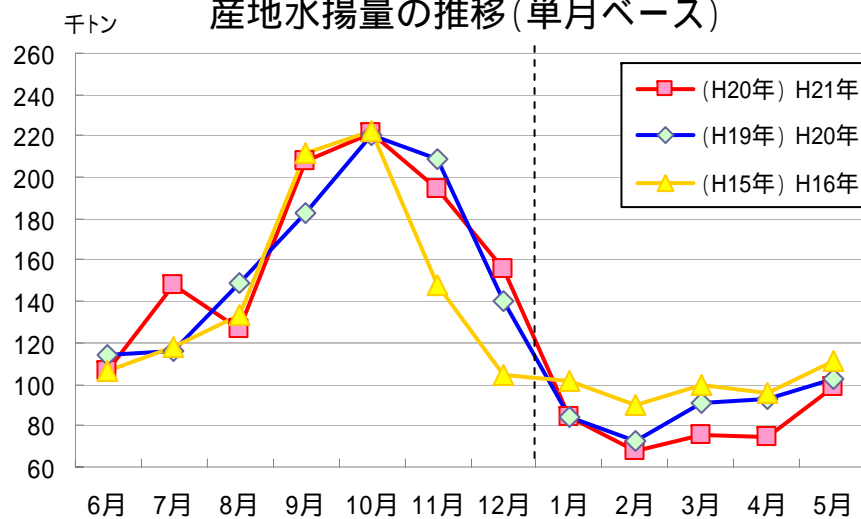
平成21年7月
水産庁漁政部企画課

1 産地水揚量の動向

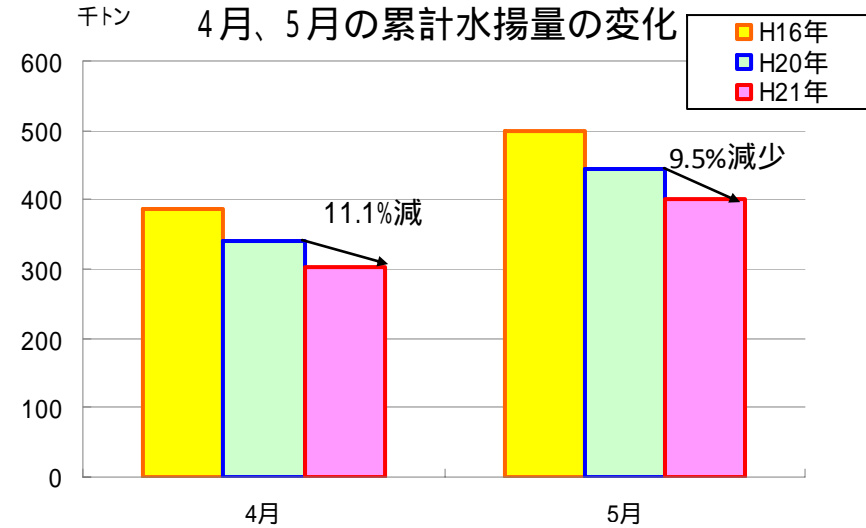
平成21年5月の水産物産地水揚量は99千トで、前年同月と比べ4.0%減少した。かつおの北上が遅れたことから、かつお竿釣船がびんなが主体に切り替えたため、生鮮びんながでは707.4%増加。また、まあじ(30.5%増)、ほっけ(19.1%増)等で水揚量が増加した。さば類(36.5%減)、かたくちいわし(49.8%減)、冷凍遠洋するめいか(64.6%減)等では水揚量が減少している。

平成21年の水産物の累計産地水揚量は5月までで401千トで、前年同月と比べ9.5%減少し、前年同月比11.1%の減少であった先月から減少幅が縮小した。これは、累月ベースで、生鮮びんなが(74.0%増)、さば類(7.0%増)で水揚量が増加した以上に、かたくちいわし(30.0%減)、ほっけ(34.0%減)等で水揚量が減少したためである。

産地水揚量の推移(単月ベース)



4月、5月の累計水揚量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21累計
水揚量	数量(千トン)	1,603	84	67	75	75	99	401
	前年同月比	-1.1%	0.0%	-7.2%	-17.8%	-18.9%	-4.0%	-9.5%
	H16年同月比	-1.7%	-17.1%	-25.5%	-24.9%	-21.6%	-11.6%	-19.6%

出典: 農林水産省「産地水産物流通統計」

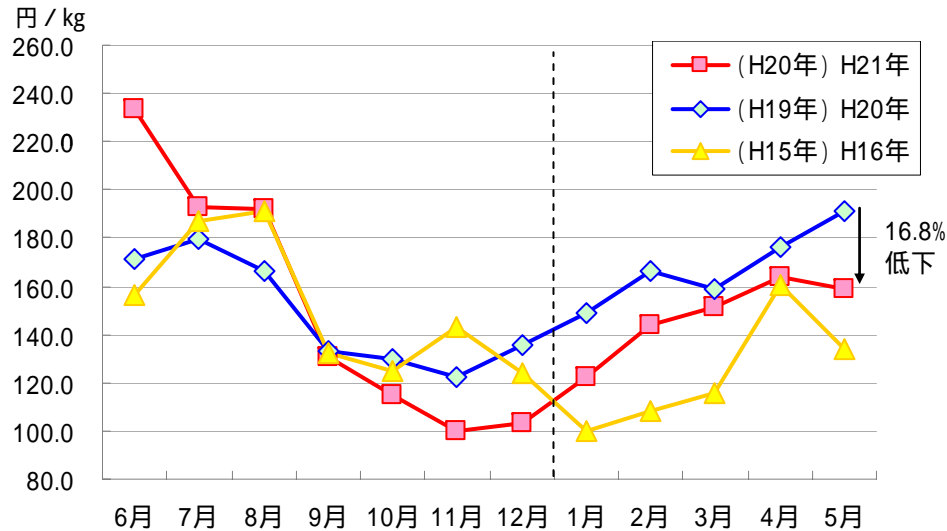
- 注: 1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5639千トン)に対する割合(カバー率)は約30%である。
 3) 2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。
 4) 表中の については、平成15年合計値との比較である。

2 産地平均卸売価格の動向

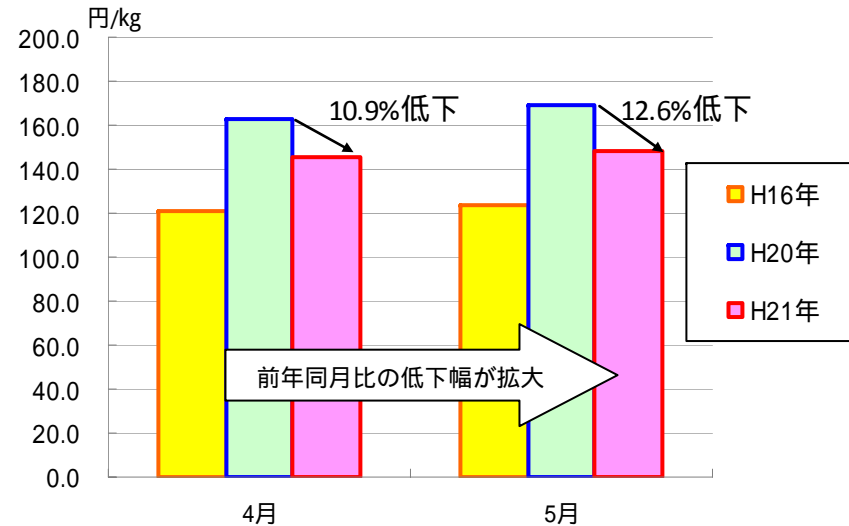
平成21年5月の平均産地卸売価格は159円/kgで、前年同月と比べ16.8%低下した。これは、生鮮びんなが、むろあじ等で水揚金額が増加した以上に、かつお、さば類、まあじ等の水揚金額が減少したためである。

平成21年の平均(累計平均)の産地卸売価格は5月までで148円/kgで、前年同月と比べ12.6%低下し、前年同月比10.9%低下であった先月から低下幅は拡大した。累月ベースでは、生鮮びんなが、冷凍近海するめいか、うるめいわし等で水揚金額が増加した。国際相場の影響を受け、価格が低迷している冷凍かつおや、えさ需要が低下しているかたくちいわし等での水揚金額が減少した。

産地平均卸売価格の推移(単月ベース)



4月、5月の産地平均卸売価格(累計平均)の変化



	H20平均	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21平均
価格(円/kg)	150	123	144	151	164	159	148
前年同月比	4.9%	-17.5%	-13.5%	-4.9%	-7.0%	-16.8%	-12.6%
H16年同月比	0.0%	22.7%	33.4%	30.5%	2.2%	19.0%	19.7%

出典: 農林水産省「産地水産物流通統計」

- 注: 1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5639千トン)に対する割合(カバー率)は約30%である。
 3) 2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。
 4) 表中の「」については、平成15年合計値との比較である。

(参考)魚種別の累計水揚量・卸売価格

品目	累積の上場水揚量 (t)			累積の平均卸売価格 (1kg当たり円)			
	平成21年 1月～5月	20年 1月～5月	対前年 同期比	平成21年 1月～5月	20年 1月～5月	対前年 同期比	
			%			%	
まぐろ (生鮮)	1	151	271	56	4 090	4 282	96
” (冷凍)	2	91	258	35	1 821	3 496	52
びんなが (生鮮)	3	17 334	9 984	174	291	363	80
” (冷凍)	4	910	699	130	290	340	85
めばち (生鮮)	5	2 506	2 871	87	1 065	1 183	90
” (冷凍)	6	7 095	9 056	78	775	771	101
きはだ (生鮮)	7	3 863	3 927	98	647	676	96
” (冷凍)	8	2 702	4 098	66	507	535	95
かつお (生鮮)	9	12 479	12 028	104	374	402	93
” (冷凍)	10	89 179	92 332	97	152	194	78
まいわし	11	4 562	5 988	76	100	103	97
うるめいわし	12	6 609	5 566	119	70	79	89
かたくちいわし	13	50 150	71 196	70	33	58	57
まあじ	14	40 503	44 156	92	187	216	87
むろあじ	15	9 071	13 051	70	121	99	122
さば類	16	109 505	102 268	107	78	102	76
さんま	17	95	227	42	57	63	90
ほっけ	18	36 039	54 848	66	42	52	81
するめいか (生鮮)	19	5 427	6 812	80	203	168	121
” (冷凍、遠洋)	20	452	1 267	36	180	183	98
” (冷凍、近海)	21	2 436	2 288	106	237	210	113

資料：農林水産省「産地水産物流通統計」

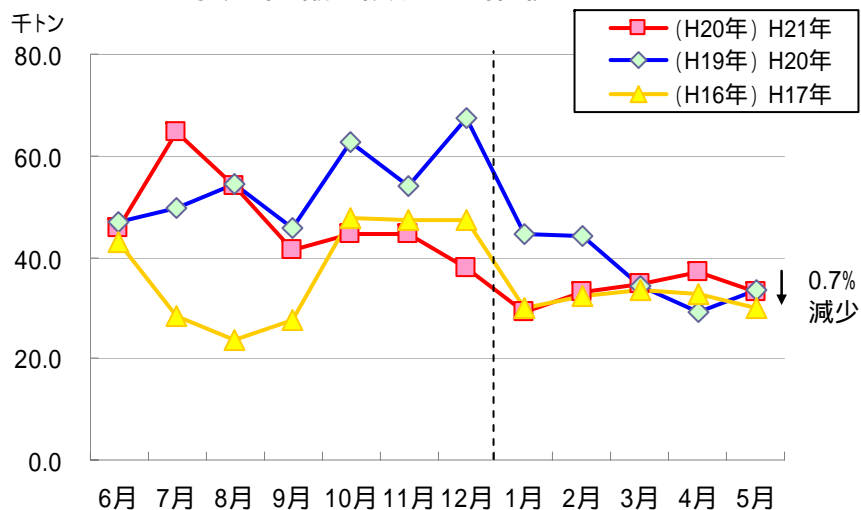
注：1)「まぐろ」とは、くろまぐろ及びみなみまぐろの合計である。

3 - 水産物輸出数量の動向

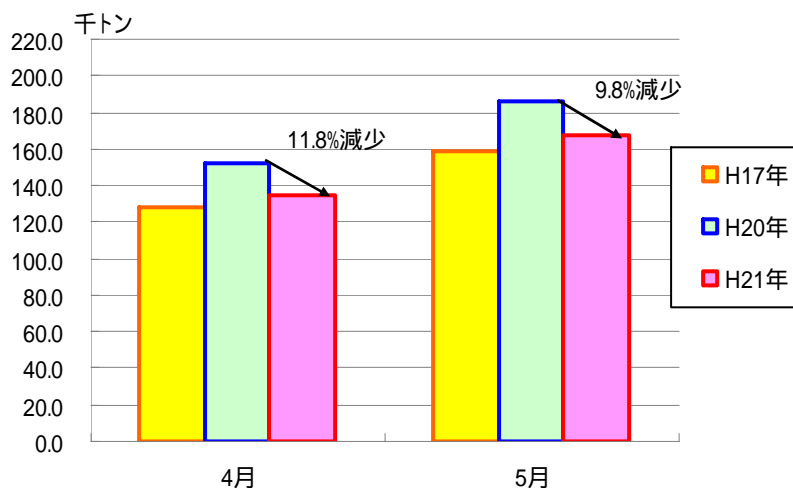
平成21年5月の水産物輸出量は33.1千トで、前年同月と比べ0.7%減少した。これは、まぐろ類(126.0%増)、冷凍さんま(38.6%増)、すけとうだら(37.6%増)等で輸出量が増加した以上に、さば(27.0%減)、いか(66.8%減)、たら(53.6%減)等の輸出量が減少したためである。

平成21年の水産物の累計輸出量は5月までで167.3千トで、前年同月と比べ9.8%減少した。品目別にみると、価格が手頃な日本産への需要が高まった冷凍さんま(26.0%増)等で輸出量が増加。円高や世界的な経済不況の影響によりかつお類(84.2%減)、いか(50.9%減)、さば(14.9%減)等の品目で輸出量が減少した。

水産物輸出数量の推移



4月、5月の累計水産物輸出量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21累計
輸出	数量(千トン)	518.4	29.2	33.0	34.8	37.2	33.1	167.3
	前年同月比	-15.3%	-34.3%	-25.5%	1.5%	27.7%	-0.7%	-9.8%
	H17年同月比	22.2%	-2.3%	1.9%	4.1%	13.3%	10.5%	5.6%

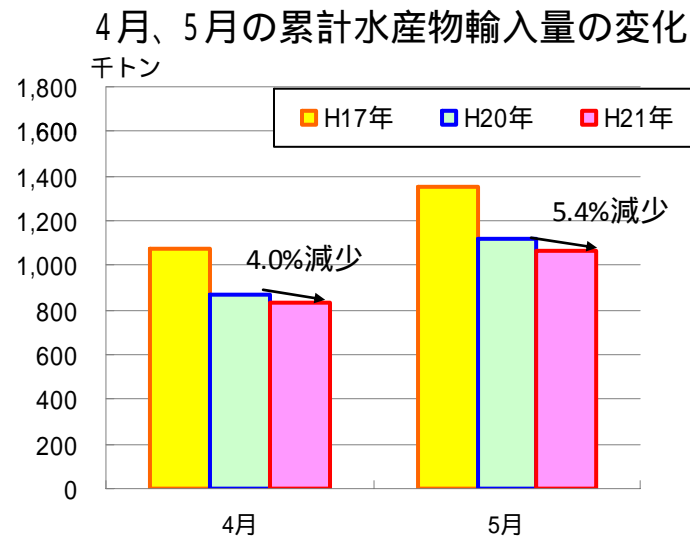
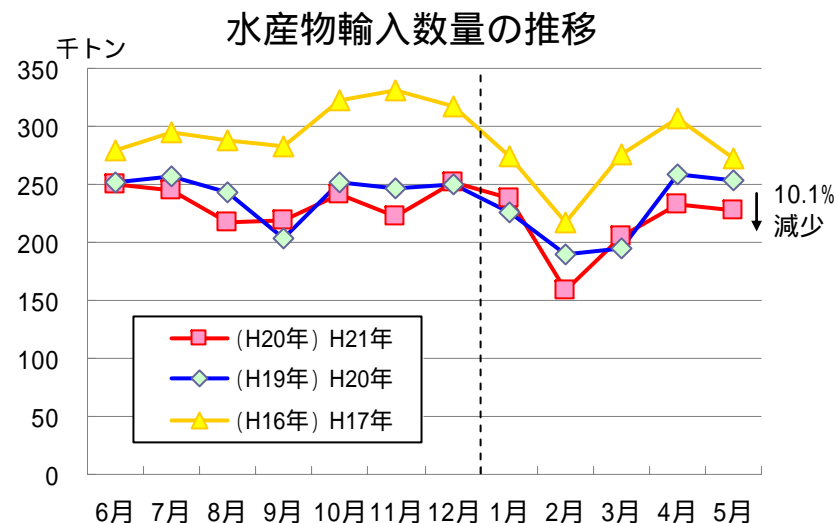
資料: 農林水産省「農林水産物輸出入情報」

- 注: 1) 表中の については、平成16年合計値との比較である。
 2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

3 - 水産物輸入数量の動向

平成21年5月の水産物輸入量は227千トンを、前年同月と比べ10.1%減少した。ノルウェー産の解禁にともないししゃも(138.8%増)で輸入量が増加。また、魚粉(15.7%増)、たこ(40.0%増)等で輸入量が増加した。チリ産銀さけの減少が大きかったさけ・ます類(16.2%減)や、まぐろ類(13.9%減)、わかめ(38.1%減)等では輸入量が減少した。

平成21年の水産物の累計輸入量は5月までで1,063千トンを、前年同月と比べ5.4%減少した。品目別にみると、円高や国際価格の低下により需要が増加したかつお類(101.3%増)、魚粉(10.1%増)、魚油(84.5%増)等の品目で輸入量が増加。米国産の大幅な減産によりたら(40.0%減)の輸入量が減少。また、さけ・ます(7.3%減)、まぐろ類(8.3%減)等の品目で輸入量が減少した。



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21計
輸入	数量(千トン)	2,768	238	159	206	233	227	1,063
	前年同月比	-4.0%	5.2%	-16.4%	5.9%	-10.3%	-10.1%	-5.4%
	H17年同月比	-20.6%	-13.3%	-27.1%	-25.5%	-24.3%	-16.5%	-21.2%

資料: 農林水産省「農林水産物輸出入情報」

- 注: 1) 表中の については、平成16年合計値との比較である。
 2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

(参考) 品目別の累計輸出入数量

輸出量(千トン)				輸入量(千トン)			
品目	平成21年 1～5月	平成20年 1～5月	前年 同月比	品目	平成21年 1～5月	平成20年 1～5月	前年 同月比
さば(冷蔵・冷凍)	33.4	39.3	-14.9%	さけ・ます(生・蔵・凍)	117.6	126.8	-7.3%
さんま(冷凍)	27.8	22.1	26.0%	魚粉	114.7	104.2	10.1%
すけとうだら(生・蔵・凍)	22.2	19.1	16.3%	まぐろ類(生・蔵・凍)	92.7	101.1	-8.3%
さけ・ます(生・蔵・凍)	15.5	13.9	11.6%	えび(活・生・蔵・凍)	71.4	71.6	-0.3%
まぐろ類(生・蔵・凍)	9.0	8.1	11.8%	いか(活・生・蔵・凍もんごう含む)	32.0	30.7	4.3%
いか(生・蔵・凍)	8.2	16.6	-50.9%	あじ(冷凍)	29.0	21.9	32.1%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	2.6	3.4	-21.5%	えび(調製)	24.5	25.0	-2.3%
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	2.6	3.9	-33.4%	かつお類(生・蔵・凍)	24.1	12.0	101.3%
さめ(生・蔵・凍)	2.4	1.9	30.0%	たら卵(生・蔵・凍)	21.4	28.2	-24.0%
かつお類(生・蔵・凍)	2.4	15.2	-84.2%	たら(生・蔵・凍・すり身)	21.4	35.6	-40.0%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

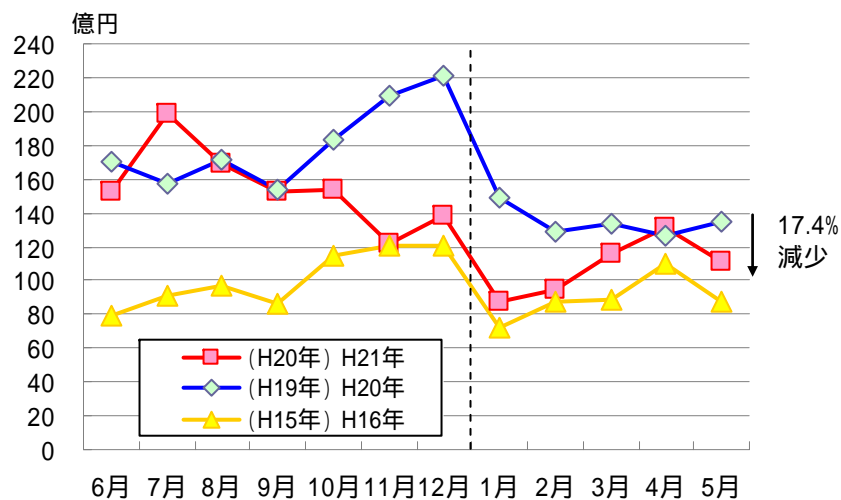
注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

4 - 水産物輸出金額(真珠を除く)の動向

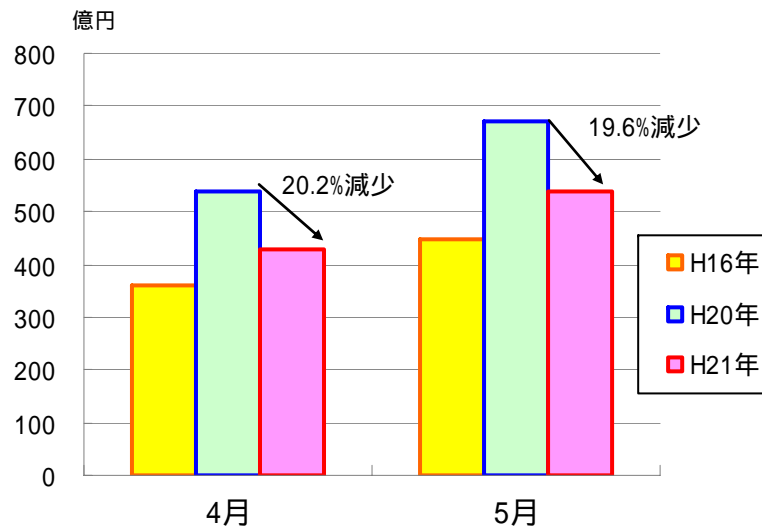
平成21年5月の水産物輸出金額は111億円で、前年同月と比べ17.4%減少した。これは、まぐろ類(36.4%増)、貝柱調製品(86.7%増)、さば缶詰(817.3%増)等で輸出金額が増加した以上に、ほたて貝調整品(52.3%減)、乾燥なまこ調製品(42.4%減)、さば(38.7%減)等で輸出金額が減少したためである。

平成21年の水産物の累計輸出金額(真珠除く)は5月までで540億円で、前年同月と比べ19.6%減少した。品目別にみると、ぶり(54.4%増)、貝柱調整品(35.2%増)、さけ・ます(25.1%増)等で輸出金額が増加。円高や世界的な不況の影響によりかつお類(89.4%減)が大幅に減少。また、乾燥なまこ調整品(27.1%減)、ほたて貝(32.9%減)等の品目で輸出金額が減少した。

水産物輸出金額の推移(単月ベース)



4月、5月の累計輸出金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21累計
輸出	金額(億円)	1772	87	94	116	131	111	540
	前年同月比	-13.1%	-41.5%	-26.7%	-12.7%	3.7%	-17.4%	-19.6%
	H16年同月比	59.5%	20.2%	7.0%	31.2%	19.8%	27.0%	21.0%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1)表中の については、平成15年合計値との比較である。

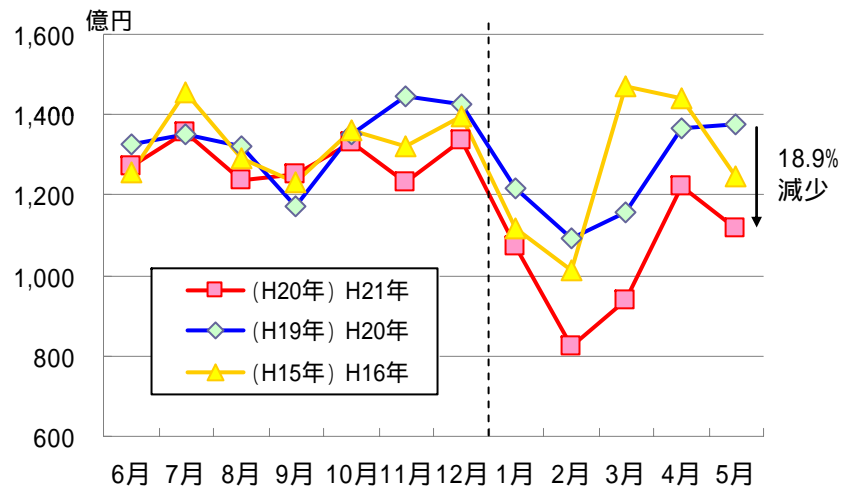
2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

4 - 水産物輸入金額(真珠を除く)の動向

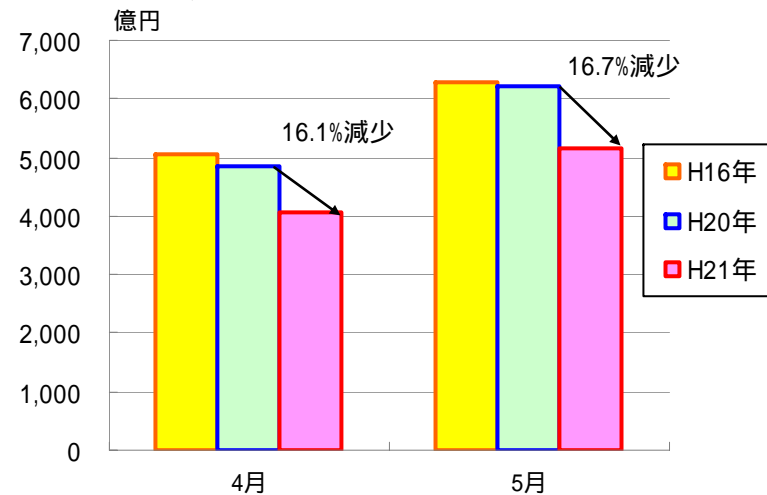
平成21年5月の水産物輸入金額は1,115億円で、前年同月と比べ18.9%減少した。これは、うなぎ調製品(15.6%増)、ししゃも(66.9%増)、あさり(343.9%増)等で輸入金額が増加した以上に、たらの卵(39.9%減)、かに(52.4%減)、えび(16.9%減)等の輸入金額が減少したためである。

平成21年の水産物の累計輸入金額(真珠除く)は5月までで5,170億円で、前年同月と比べ16.7%減少した。品目別にみると、さけ・ます(3.5%増)、冷凍あじ(36.0%増)で輸入金額が増加。国内需要の低迷や円高によりまぐろ類(18.9%減)で輸入金額が減少。また、たらの卵(43.9%減)、たこ(46.4%減)で輸入金額が減少した。

水産物輸入金額の推移(単月ベース)



4月、5月の累計輸入金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21累計
輸入	金額(億円)	15,249	1,074	823	937	1,220	1,115	5,170
	前年同月比	-3.9%	-11.8%	-24.7%	-19.0%	-10.6%	-18.9%	-16.7%
	H16年同月比	-0.8%	-3.7%	-18.6%	-36.3%	-15.2%	-10.5%	-17.7%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1)表中の については、平成15年合計値との比較である。

2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

(参考) 品目別の累計輸出入金額

輸出金額(億円)				輸入金額(億円)			
品目	平成21年 1～5月	平成20年 1～5月	前年 同月比	品目	平成21年 1～5月	平成20年 1～5月	前年 同月比
真珠	71.6	137.3	-47.9%	まぐろ類(生・蔵・凍)	901.9	1112.3	-18.9%
乾燥なまこ(調製)	40.7	55.8	-27.1%	さけ・ます(生・蔵・凍)	615.4	594.5	3.5%
さけ・ます(生・蔵・凍)	34.3	27.4	25.1%	えび(活・生・蔵・凍)	607.4	686.9	-11.6%
さば(冷蔵・冷凍)貝柱(調製)	32.4	44.6	-27.3%	たら卵(生・蔵・凍)	208.0	370.8	-43.9%
すけとうだら(生・蔵・凍)	31.2	33.7	-7.4%	えび(調製)	195.8	211.3	-7.3%
まぐろ類(生・蔵・凍)	30.9	32.7	-5.5%	いか(活・生・蔵・凍もんごう含む)	135.6	148.7	-8.8%
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	30.8	45.9	-32.9%	かに(活・生・蔵・凍)	132.2	155.7	-15.1%
貝柱(調製)	30.5	22.6	35.2%	たこ(活・生・蔵・凍)	103.7	193.4	-46.4%
ぶり(生・蔵・凍)	23.6	15.3	54.4%	魚粉	102.2	100.6	1.6%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	21.4	25.4	-15.7%	真珠	96.4	173.3	-44.4%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

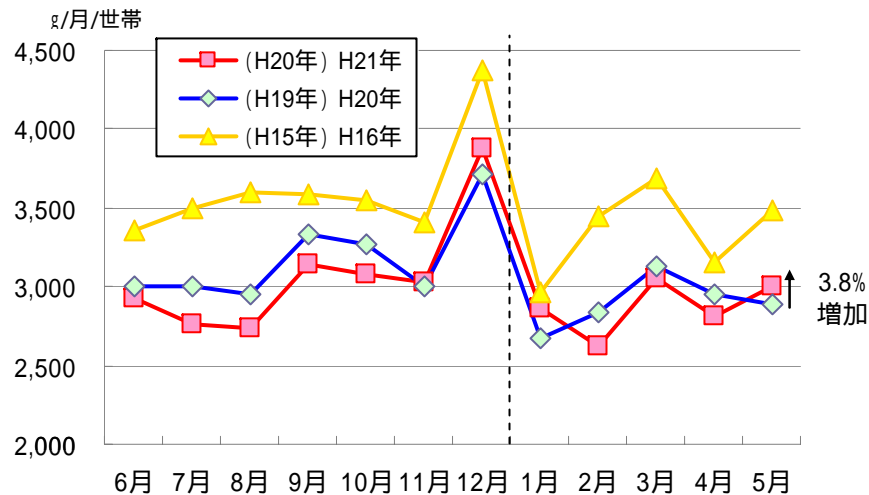
注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

5 - 生鮮魚介の家計購入数量の動向

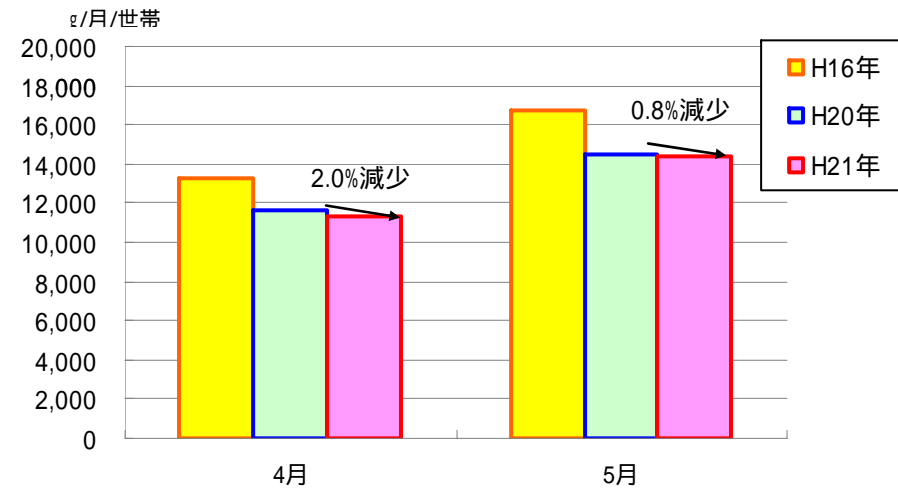
平成21年5月の生鮮魚介1世帯1月当たりの購入数量は2,997g/月/世帯で、前年同月と比べ3.8%増加した。これは、単月ベースではたて貝(15.2%減)、ぶり(7.0%減)、他の鮮魚(4.5%減)等で購入数量が減少した以上に、たこ(51.9%増)、いか(7.1%増)、かれい(11.7%増)、まぐろ(6.2%増)等の購入数量が増加したことによる。

平成21年の生鮮魚介1世帯1月当たりの累計購入数量は5月までで14,365g/月/世帯で、前年同月と比べ0.8%減少した。前年同月と比べ累計購入数量が少ないのは、さんま(20.2%増)、たい(15.9%増)、えび(6.7%増)等の品目で購入数量が増加した以上に、いか(12.2%減)、まぐろ(6.2%減)、さば(6.5%減)、ぶり(4.0%減)等の品目で購入数量が減少したことによる。

魚介類1世帯1月当たり購入数量の推移(単月ベース)



4月、5月の魚介類1世帯1月当たり購入数量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21累計
生鮮魚介 購入数量	数量(g/月/世帯)	36,031	2,868	2,626	3,056	2,818	2,997	14,365
	前年同月比	-5.0%	7.2%	-7.6%	-2.5%	-4.3%	3.8%	-0.8%
	H16同月比	-14.9%	3.2%	23.8%	17.1%	10.6%	14.1%	-14.2%

資料:総務省「家計調査報告」

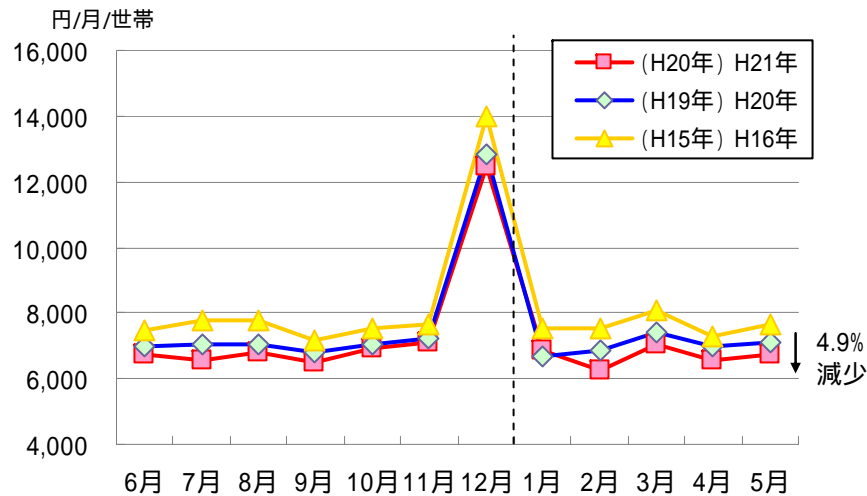
- 注: 1) 表中の については、平成15年合計値との比較である。
 2) 本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。
 3) 生鮮魚介は、鮮魚16品目、貝類5品目の合計である。

5 - 魚介類の家計消費支出の動向

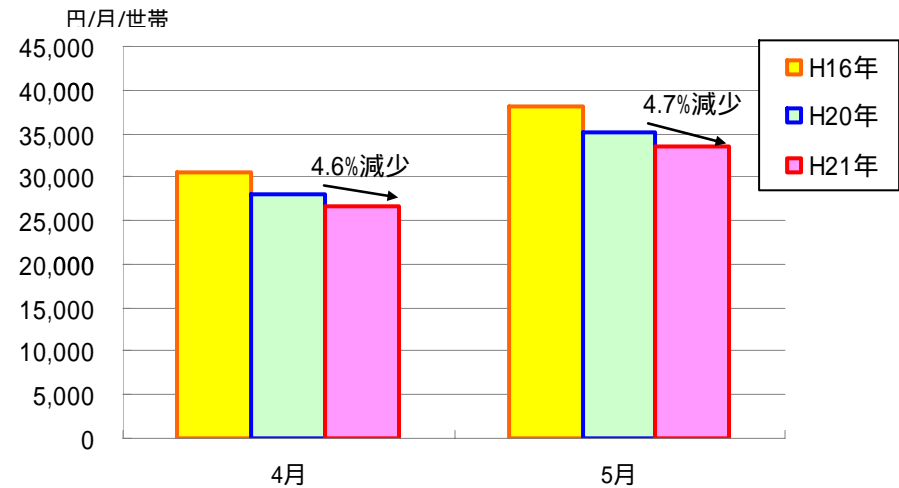
平成21年5月の魚介類1世帯1月当たりの支出金額は6,767円/月/世帯で、前年同月と比べ4.9%減少した。これは、まぐろ(5.1%増)、たこ(14.0%増)、揚げかまぼこ(7.4%増)で支出金額が増加した以上に、たらこ(14.0%減)、ぶり(12.3%減)、かつお(5.6%減)等の支出金額が減少したことによる。

平成21年の魚介類1世帯1月当たりの累計支出金額は5月までで33,460円/月/世帯で、前年同月と比べ4.7%減少した。前年同月と比べ累計支出金額が少ないのは、えび(1.8%増)、たこ(3.4%増)、さんま(6.0%増)等の品目で支出金額が増加した以上に、まぐろ(7.1%減)、たらこ(9.2%減)、いか(8.8%減)、ぶり(6.5%減)等の品目で支出金額が減少したことによる。

魚介類1世帯1月当たり支出金額の推移(単月ベース)



4月、5月の魚介類1世帯1月当たり支出金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21累計
魚介類 支出金額	金額(円/月/世帯)	88,211	6,851	6,230	7,039	6,573	6,767	33,460
	前年同月比	-3.5%	2.3%	-9.6%	-5.0%	-6.0%	-4.9%	-4.7%
	H16同月比	-10.4%	-9.2%	-17.5%	-12.7%	-9.7%	-11.8%	-12.2%

資料:総務省「家計調査報告」

- 注: 1) 表中の については、平成15年合計値との比較である。
 2) 本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。
 3) 魚介類は、生鮮魚介21品目、塩干魚介7品目、魚肉練製品4品目および他の魚介加工品5品目の合計である。

(参考) 品目別の1世帯当たり購入数量及び支出金額

品目	購入数量				支出金額				品目	支出金額			
	平成21年 5月	対前年 同月比	平成21年 1～5月	対前年 同月比	平成21年 5月	対前年 同月比	平成21年 1～5月	対前年 同月比		平成21年 5月	対前年 同月比	平成21年 1～5月	対前年 同月比
鮮魚	2,704	3.9%	12,819	-0.8%	3,730	-4.3%	18,110	-4.8%	塩干魚介	1,209	-11.5%	5,976	-8.7%
まぐろ	222	6.2%	1,022	-6.2%	515	5.1%	2,324	-7.1%	塩さけ	153	-7.8%	761	-5.0%
あじ	185	5.1%	676	0.0%	170	-4.0%	628	-9.6%	たらこ	221	-14.0%	1,073	-9.2%
いわし	71	4.4%	322	-2.4%	56	0.0%	259	-8.2%	しらす干し	134	-9.5%	579	-8.8%
かつお	150	4.2%	432	0.2%	235	-5.6%	669	-5.4%	干しあじ	104	-8.8%	486	-7.3%
かれい	134	11.7%	628	3.8%	142	-8.4%	738	-7.3%	干しいわし	30	-18.9%	183	-15.3%
さけ	267	3.5%	1,206	0.8%	368	0.0%	1,631	-2.3%	煮干し	32	-11.1%	160	-12.1%
さば	103	-1.0%	529	-6.5%	83	-13.5%	456	-9.2%	他の塩干魚介	536	-11.7%	2,735	-9.0%
さんま	87	1.2%	511	20.2%	43	0.0%	247	6.0%	魚肉練製品	670	2.4%	3,503	0.3%
たい	93	13.4%	365	15.9%	135	-2.2%	580	-3.5%	揚げかまぼこ	203	7.4%	1,105	2.6%
ぶり	133	-7.0%	835	-4.0%	193	-12.3%	1,386	-6.5%	ちくわ	152	4.1%	772	6.0%
いか	226	7.1%	1,015	-12.2%	225	-3.0%	1,036	-8.8%	かまぼこ	215	-2.7%	1,029	-5.9%
たこ	82	51.9%	304	16.0%	122	14.0%	510	3.4%	他の魚肉練製品	100	1.0%	596	0.3%
えび	170	4.3%	800	6.7%	293	-2.0%	1,362	1.8%	他の魚介加工品	805	-3.4%	3,830	-3.0%
かに	35	20.7%	256	13.3%	59	-13.2%	547	-2.1%	かつお節・削り節	85	4.9%	395	0.8%
他の鮮魚	464	-4.5%	2,592	-5.2%	609	-14.5%	3,434	-7.9%	魚介の漬物	217	3.3%	1,025	-4.0%
さしみ盛合わせ	183	-1.1%	862	2.3%	483	-0.4%	2,298	0.3%	魚介のつくだ煮	72	-17.2%	379	-13.1%
貝類	289	2.1%	1,541	-0.3%	353	-2.5%	2,040	-2.8%	魚介の缶詰	202	-3.8%	968	1.5%
あさり	146	5.8%	554	-3.0%	132	-5.7%	536	-3.2%	他の魚介加工品の その他	229	-7.3%	1,064	-3.4%
しじみ	28	16.7%	113	-4.2%	36	5.9%	165	-3.5%					
かき	3	-25.0%	294	-0.3%	3	-25.0%	473	-0.8%					
ほたて貝	78	-15.2%	417	5.6%	134	-1.5%	635	-2.0%					
他の貝	26	13.0%	151	-7.9%	48	-2.0%	231	-8.0%					

資料:総務省「家計調査報告」

本資料は、各々の出典に基づいて水産庁漁政部企画課で作成したものであり、本資料中における平成19年及び平成20年合計値は速報値である。

次回(平成21年6月版)の発行は、平成21年8月中旬の予定であるが、出典の公表時期などにより前後することがある。

お問い合わせ先

水産庁 漁政部 企画課 動向分析班
担当 長尾

電話:03-3502-8111(内線6578)

直通:03-6744-2344